

## 中播磨地域未来フォーラムの主な意見

分野	主な意見
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中播磨地域は非常に多様性がある。離島もあり、市川を北上すると農村地帯もあり、最後はスキー場まである。この非常に素晴らしい魅力を生かしていきたい。</li> <li>・若い人が住みたい・働きたい・子育てしたいと思う魅力的な地域でないと、人は集まってこない。</li> </ul>
ツーリズム 振興・地域 資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の素晴らしさも中播磨の魅力の一つである。銀の馬車道も粘り強く PR してきた結果、認知度が上がってきた。継続することは大事である。</li> </ul>
交流 移住促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住支援ではミスマッチが課題である。移住者が求める田舎暮らしと実際の地域での暮らしにギャップがあると感じている。中にはイメージと違ったと言って1カ月くらいで出て行く人もいる。このギャップを楽しめる人が地域にとっては良いのかもしれない。</li> <li>・家島の良いところと悪いところのすべてをまとめ、移住者にとって手引きとなるような冊子を作ろうとしている。家島の良いところも悪いところも知った上で移住してきてほしいという狙いがある。</li> <li>・結婚相談所を運営しているが、地元での結婚を希望する相談者が多い。相手がいないため、外に出て行くが、決して地元愛がなくなっているわけではない。</li> <li>・2025 年に健康と食をテーマに里山がフィールドパビリオンとなって、大阪・神戸・姫路、そして里山がリモートでつながり、海外や街中の人たちに播磨のブランドを広めたいと強く願っている。</li> </ul>
情報発信 魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路は播磨の中心であるとともに、東京・大阪・神戸にブランド価値を発信できる場所だと思っている。</li> <li>・これからは英語だけでなく多言語の習得も推進し、影響力・発言力を高めていくことも大事。日本をはじめグローバルな舞台において様々なレベルで主張できることは、中播磨の魅力を幅広い人に知ってもらえることにつながる。</li> <li>・町政・市政・県政に関心のない人が多い。地域外へのアピールも大事だが、地域内に中播磨はこんな地域でこんなことをしているということを分かりやすく PR することも重要</li> <li>・行政がやっているサービスを知らない人が多い。税金を使って良いことをしているのであれば、もっと上手く積極的に PR すべき。</li> <li>・ママ世代が最初に行政に関わる出産・子育てのタイミングでまちなことを好きになると外への PR につながる。若い人が楽しそうにしているまちは、周りから良く見えて、それが外への PR につながる。</li> </ul>

交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で新幹線の駅が4つあるのは、日本で広島と兵庫だけ。リモートワークができる中で、都会へのアクセスが良いのは強みである。</li> </ul>
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神河町のような山間部の郡部でも、都市部と同じような収入が得られる仕事がある地域になればいいと思う。</li> <li>・経済的に都会の方が豊かであるため、地域経済を活性化させていかないと、若者は都市部へ出て行ってしまい帰ってこない。</li> <li>・学生は昔に比べて感度が良くなっている。アンテナをしっかりと張っており、あまり知られていないB to Bの企業に就職する学生もいる。若者の感度に引っ掛かるところがあると、選んでもらえる。</li> </ul>
農林水産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年の大阪・関西万博に向けて、兵庫県は第一次産業が特長であり、また万博のテーマである健康・命にとっても相応しい地域だと思う。姫路 (Himeji)、播磨 (Harima)、兵庫県 (Hyogo)、健康 (Health) の頭文字はすべてHだと思い、エイチ LABO という異業種交流プロジェクトを行っている。</li> </ul>
多様な働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路ではチャレンジしようとする若い人になかなか出会えない。やはり地方ではここで子育てすると決めた女性がキーになると思う。</li> <li>・5年後、10年後の子どもたちは、自宅で勉強したり、自宅で仕事をするのが当たり前になる。</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活に来る女性は男性の年収を分かっておらず、父親と同じくらいもらっているはずだと思っている。高校の授業等で根本的なお金の話を学ぶ機会があるといいと思う。</li> <li>・中播磨は、中高生がワクワクできるまちを目指すべき。中高生が将来を見通せるまち、将来ここでずっと働きたいと思えるまち、そういう情報が行き来しているまちこそ価値があるのではないかな。</li> <li>・宿題やプリントの山に追われて、小学5・6年生の段階で疲れ切っている。どうにかならないかと悲しくなる。</li> <li>・近所の小学校で読み聞かせをする際に、小学生の様子を見ていると、みんなとてもよく言うことを聞くのだが、それが逆にロボット的で、小さい社会人がたくさんいるように感じた。</li> <li>・海外の学校に通っていたため、日本の教育に違和感を覚える。人間味に欠けているように感じる。公立学校でもいきいきとした子どもを育てる教育をすれば、中高生・大学生になったときに夢をつかみ取ろうとする人が育つのではないかな。</li> </ul>
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中播磨の多様な魅力を生かして、大変なときほど助け合える地域になってほしいと思っている。人と人の距離が離れつつある中、人とのつながりを重要視する必要がある。</li> <li>・中播磨には、祭りに代表される人のつながりの濃さや歴史がある。これはゆるぎない資産であり、これからも生かしていくべき。</li> </ul>

<p>子育て</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住むところがあって、支えてくれる実家があって、仕事があると、子どもを産み育てやすい環境になると実感している。</li> <li>・福祉は高齢者に目が向くが、子どもを安心して育てられ、お母さんが元気で、女性が輝いている地域が、健やかで健康な地域だと思う。</li> <li>・最近のお母さんは支援を上手く求められない。ネットの世界で相談する人が多く、生身のつながり方が下手だと感じる。ネットも大事だが、「この人だから相談してみよう」という人のつながりも大事</li> <li>・出産に係る補助はいろいろあるが、どのタイミングでどこに申請すればいいか、誰に相談したらいいか分からない。情報が届いてほしい人に届いていない。どこに行けばいい、誰に聞けばいい等を示してもらえると、もっと情報が伝わりやすくなるのではないか。何か悩んだときの相談窓口があると嬉しい。</li> <li>・情報に弱い人・つながる力の弱い人のために、ワンストップ窓口は地域づくりを考える上で大事なことだと思う。</li> <li>・育休中にママが楽しめる場所が、行政サービスではあまりなかった。そういうものを作ったら、喜ばれるのではないか。</li> </ul>
<p>安全安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少で消防団の担い手不足が課題</li> <li>・最近の消防団は、校区外で働いている人が増えてきた。地元で働く人がいないと昼間の火事に対応できない。</li> </ul>
<p>ふるさと意識 伝統文化・ 芸術文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の古い考えを捨てるのではなく、現代の考えとハイブリッドにすることで、中播磨、そして日本をさらに強くするのではないか。</li> <li>・中播磨には、祭りに代表される人のつながりの濃さや歴史がある。これはゆるぎない資産であり、これからも生かしていくべき。[再掲]</li> </ul>